

平成29年度 第1回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨 (案)

日 時 平成29年6月2日 (金) 14:00～16:56
 場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室
 構 成 員 38名 (欠席者6名)

1号委員 (琉大病院長)	藤田 次郎
2号委員 (県立中部病院長)	本竹 秀光 (欠席)
(那覇市立病院長)	屋良 朝雄
3号委員 (県立宮古病院長)	本永 英治 (欠席)
(県立八重山病院長)	依光 たみ枝
(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
5号委員 (沖縄県医師会長)	安里 哲好 (欠席)
6号委員 (沖縄県歯科医師会長)	比嘉 良喬
7号委員 (沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
8号委員 (沖縄県看護協会会長)	仲座 明美 (欠席)
9号委員 (沖縄県政策参与)	村田 謙二
10号委員 (沖縄県保健医療部長)	砂川 靖
11号委員 (琉大がんセンター長)	増田 昌人
12号委員 (琉大医療福祉支援センター長)	藤田 次郎
13号委員 (琉大薬剤部長)	中村 克徳 (代理) 鈴木 毅
14号委員 (琉大看護部長)	大嶺 千代美
15号委員 (琉大事務部長)	熊谷 圭司
16号委員 (県立中部病院副病院長)	玉城 和光
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文 (代理) 足立 源樹
(那覇市立病院外科部長)	宮里 浩
17号委員 (県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
(県立宮古病院副院長)	本村 悠子 (欠席)
(県立八重山病院副院長)	渡口 直子
(県立八重山病院医療部長)	松茂良 力 (欠席)
(北部地区医師会病院副院長・看護部長)	柴山 順子
(北部地区医師会病院副看護部長)	我如古 春美
19号委員 (沖縄県がん患者会連合会相談役)	田仲 康榮 (代理) 安里香代子
(がんの子供を守る会沖縄支部代表)	片倉 政人
(公益社団法人日本オトミ協会沖縄支部長)	大城 松健
(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
20号委員 (国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
(沖縄タイムス社会部副部長待遇)	儀間 多美子
21号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	加留部謙之輔
(琉大病院第一外科長)	西巻 正
(琉大病院小児科講師)	百名 伸之
部会報告者 緩和ケア部会長	笹良 剛史
がん登録部会	高橋 ユカ
相談支援部会長	島袋 幸代
地域ネットワーク部会長	宮里 浩
普及啓発部会長	松野 和彦
陪 席 者 沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班長	糸洲 名子
琉大病院地域医療部 (外来化学療法室)	高橋 秀徳

冒頭

○藤田議長による協議会開会の挨拶があった。

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 平成29年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(平成29年4月10日開催)

増田委員(11号委員)から、資料1の第1回幹事会議事要旨(平成29年4月10日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

2. 平成28年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(平成29年2月17日開催)

増田委員(11号委員)から、資料2の第4回協議会議事要旨(平成29年2月17日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

3. 平成28年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事録(平成29年2月17日開催)

増田委員(11号委員)から、資料3の第4回協議会議事録(平成29年2月17日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員(11号委員)から、資料4に基づき本協議会委員、幹事会及び部会委員の変更について報告があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(20号委員)から資料5(および資料10)に基づき、沖縄県の次期がん対策推進計画に向けた「ロジックモデル」の活用の有効性について説明があり、計画の策定内容は中間評価および最終評価にも影響するため、今後、計画の成果(アウトカム)を生みやすくなるロジックモデルを活用した次期計画の検討について説明があった。

2. 天野委員報告

天野委員(20号委員)から資料6に基づき、第3回がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会および文科省における多用な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プランについて、報告があった。

加留部委員(21号委員)から、研究における次世代シーケンサを使ったゲノム解析について説明があり、一般的な遺伝子パネルの検査項目が沖縄独自の疾患に対応するかについては見守ってきたいという旨の発言があった。

審議事項

1. 協議会要項の一部改正について

増田委員(11号委員)から資料7に基づき、北部地区医師会病院が「がん診療病院」に指定されたことに伴い、所要の改正を行う旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講率について

増田委員(11号委員)から資料8に基づき、がん診療におけるがん患者の主治医や担当医となる者の算出基準の説明があり、沖縄県のがん診療連携拠点病院における緩和ケア研修会の受講率について説明があった。今後、緩和ケア研修会を実施し、受講率を向上させることが確認された。

その他、関連して次のような意見等があった。

・真栄里委員(19号委員)

緩和ケア研修会の受講率の低い病院は、受講率の高い那覇市立病院を参考に、取組を進めてはどうか。

・屋良委員(2号委員)および宮里委員(16号委員)

那覇市立病院では、4月に研修会を行い、ローテーションで那覇市立病院に異動してきた先生に

特に気をつけ呼びかけを行っている。病院長の協力のもと、研修医は研修受講時、病棟のデューティをフリーにして、他のスタッフが穴埋めしている。また、医局会で何度もエクセルデータ等を提示して受講を呼びかけている。

・藤田議長

琉大病院では、患者の苦痛をとることを一番の目的とし、ナース、医師、麻酔科、精神科でチームを作り、緩和ケアの専従医も採用し、連携を図るよう取り組んでいる。緩和ケア研修会については、回数を増やし、病院長およびがんセンター長から診療科長あてに通知したため、今後、受講率の改善が見込まれるが、関連病院に派遣するため、若い医師を毎年 190 名程度雇用しているという大学病院の事情もあるので、ご理解いただきたい。

・増田委員(11号委員)

地域がん診療連携拠点病院だけでなく、地域がん診療病院やがん患者を多く診ている病院にもご協力いただき、緩和ケア研修会を昨年度は 9 回開催し、今年度は 10 回程度開催予定で、今後受講者を増やしていく予定である。琉大病院では、未受講者には、直接電話でも受講を促している。

・埴岡委員(20号委員)

緩和ケア研修会は、緩和ケア分野の目標に向けた解決のための政策の一つと位置づけられている。患者の身体、心、社会的苦痛を減少するということを目指しているため、緩和ケア研修会により、どれだけ患者の傷みがとれたのかという施策評価、事業評価という観点も必要だと思われる。また、必要な施策について同様に追いかけていく必要がある。

3. 「大腸がん激減プロジェクト（仮称）」について

増田委員(11号委員)から資料9に基づき、「大腸がん激減プロジェクト（仮称）」第1回協議会（5月30日開催）で報告協議した事項について、説明があり、協議の結果、プロジェクトの推進について了承された。

埴岡委員（20号委員）から、次の段階として、①プロジェクト協議会において、個別施策のアクションプラン（誰が何をいつまでにやり、それにより早期発見効果をどの程度上げ、それにより死亡率をどの程度下げるといふプラン）を作成する。②それぞれプロジェクトチームにおいて取り組む。③プロジェクト協議会から、本協議会に進捗状況を報告する。④本協議会は、個別活動がアウトカムをどの程度改善しているかということに関して、「PDCA のモニタリングを行い、必要な資源確保、支援をしていく。」とした方がよいのではないかという旨の発言があった。

4. 沖縄県第3次がん対策推進計画の策定に関するご意見の聴取について

増田委員(11号委員)から資料10に基づき、沖縄県第3次がん対策推進計画の策定に関する意見の聴取について説明があり、前回同様に、本協議会で議論を重ね、沖縄県に提出することが確認された。

その他、関連して次のような意見等があった。

・埴岡委員（20号委員）

沖縄県と密接な連携を取りながら、意見交換をしていくような形も含めて、検討する機会があればよいのではないか。

→砂川委員（10号委員）

沖縄県では、附属機関を設置して、諮問、答申するというルールが厚労省ガイダンスにより制定されているため、意見交換という場を設けることは想定していないが、合理的で有意義な意見については、計画に取り入れていきたいので、本協議会等から提出いただきたい。

5. 緩和ケア部会「平成28年度事業評価」と「平成29年度の事業計画」について

笹良緩和ケア部会長から資料11に基づき、緩和ケア部会「平成28年度事業評価」と「平成29年度の事業計画」について説明があり、今年度の事業計画について進めていくことが確認された。

その他、関連して次のような意見等があった。

・埴岡委員(20号委員)

スクリーニング施策が入っている点は注目しているが、中間アウトカム、分野アウトカムとの繋がりがやや不明確なため、修正について検討したほうがよいのではないか。

→笹良緩和ケア部会長

方法論等も含めて、検討したい。

6. がん登録部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について

高橋がん登録部会長から資料 12 に基づき、がん登録部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について説明があり、今年度は 10 の施策について取り組んで行くことが確認された。

埴岡委員(20号委員)から、国の施策および県の施策もアウトカム評価になりつつあるので、全部会に共通する事項として、部会のシートの評価は、アウトプット評価と並行してアウトカム評価を作る必要がある。またがん登録部会の役割として、包括的指標の役割が求められているが、がん登録部会が包括的指標もやるのかということについて、検討が必要ではないかという旨の発言があり、今後、検討することとなった。

7. 相談支援部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について

島袋相談支援部会長から資料 13 に基づき、相談支援部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について説明があり、前年度の計画を踏まえ、相談員の研修計画、周知活動について、引き続き取り組んでいくことが確認された。

その他、関連して次のような意見等があった。

- ・天野委員(20号委員)

「【施策 3】患者サロン・患者会間の情報交流会を開催する。→【アウトプット 3】ピアサポーターやがん患者団体等との連携協力体制が構築される→【アウトカム】2015 年 3 月までに県民全体の 50%が相談できる場を知っていて、希望した時にいつでも利用できる。」の部分について、沖縄県の事業で研修を実施してピアサポーターが養成されているが、一方でピアサポーターは拠点病院等でまだ十分活動できていないと聞いているので、ピアサポーターが拠点病院等のがんサロン等で複数人で共同して患者等の相談対応をしていくような体制整備について、千葉県等での取組を参考にしながら、検討してはどうか。

- ・安里氏(沖縄県がん患者会連合会田仲委員(19号委員)の代理)

患者会の存在を知らなかったという意見が患者会に多く寄せられているが、情報として患者を患者会にどのように繋げていくか。また評価の部分に、アウトカムに関する記載(患者がどう感じたか)についての記載が十分でないような気がする。患者にもわかりやすい記載について検討していただきたい。

8. 地域ネットワーク部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について

宮里委員(16号委員、地域ネットワーク部会長)から資料 14 に基づき、地域ネットワーク部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について説明があり、今後、取り組んで行くことが確認された。

9. 普及啓発部会「平成 28 年度事業評価」と「平成 29 年度の事業計画」について

松野普及啓発部会長から資料15に基づき、普及啓発部会「平成28年度事業評価」と「平成29年度の事業計画」について説明があり、今後、取り組んで行くことが確認された。なお、「9.企業への検診受診率のアンケート調査を行う。」という項目については、アンケートの回収率が低く、継続することが難しいということで、29年度は事業計画から削除しているが、就労支援との関わりもあるため、今後、相談支援部会との連携についても検討したい旨、補足説明があった。

その他、関連して次のような意見等があった。

- ・天野委員(20号委員)

がん教育について、文科省の学習指導要領等でがん教育の推進が定められ、特にその中で医療関係者もしくはがん患者家族などの外部講師を活用してがん教育を推進するということがガイドライン等で定められている。おそらく今後、がん教育に関しての実施もしくはニーズ等が高まっていくと予想される。沖縄県では普及啓発部会もしくはどなたかが主に担当されているということか。

→増田委員(11号委員)

保健体育主事や養護教諭の5年研修、10年研修では、医療者が関わっているが、生徒を対象とするがん教育における医療者、患者会の関わりには、教育庁、各市町村教育委員会の一部と検討を重ねているところである。

10. 平成 29 年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員(11号委員)から資料16に基づき、協議会日程(案)の提案があり、今後、県議会との兼ね合を沖縄県庁と調整し、改めて連絡することの説明があった。

11. その他

特になし。

報告事項

1. 「沖縄県がん対策推進計画（第2次）中間評価－概要版」について

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班糸洲班長から、資料（「沖縄県がん対策推進計画（第2次）中間評価－概要版」）に基づき、沖縄県がん対策推進計画（第2次）中間評価について報告があった。

2. 第3期がん対策推進基本計画（素案）について

3. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

4. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

5. 第65回がん対策推進協議会について

6. 第21回がん検診のあり方に関する検討会について

7. 第1回がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会について

増田委員（11号委員）から資料17～22に基づき、一括して報告があった。

8. おきなわがんサポートハンドブックについて

島袋相談支援部会長からおきなわがんサポートハンドブックについて、資料（おきなわがんサポートハンドブック）に基づき報告があり、保健医を通して、沖縄県内医療機関や保健所、がん患者会、薬局、市役所等に配付しているので、各医療機関での活用をお願いしたい旨、協力依頼があった。

9. 2014年症例 院内がん登録集計報告書について

高橋がん登録部会長から2014年症例 院内がん登録集計報告書について、資料（2014年症例 院内がん登録集計報告書）に基づき報告があった。

10. 宮平乳業 牛乳パック報告について

松野普及啓発部会長から、前回協議会にて表彰いただいたポスターコンクールの5作品のうち、石垣市白保中学校小浜さんの作品が宮平乳業牛乳パックに印刷され、4月から実際に店頭に並んでいる。また本年度も開催予定である旨、報告があった。

11. その他

部会報告事項

1. 緩和ケア部会

笹良部緩和ケア部会長から資料23に基づき、緩和ケア部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

2. がん登録部会

高橋登録部会長から資料24に基づき、がん登録部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

3. 相談支援部会

島袋相談支援部会長から資料25に基づき、相談支援部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

4. 地域ネットワーク部会

宮里委員（16号委員、地域ネットワーク部会長）から資料26に基づき、地域ネットワーク部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

5. 普及啓発部会

松野普及啓発部会長から資料27に基づき、普及啓発部会の活動・取り組み状況について報告があった。

その他

・友利委員(第16号委員)の代理で出席された足立氏から、本協議会委員について、沖縄県の全ての放射線治療医、放射線治療に携わる技師、看護師、医学物理士が一同に介して月1回行われているミーティングにて話し合った結果、放射線治療の均てん化のためにも、放射線治療医1名を本協議会委員として参加させていただきたいということになった旨、説明および提案があり、審議の結果、要項第2条第1項第21号「琉大の病院長が必要と認める者」として、議長に一任することとなった。

・沖縄県がん患者会連合会田仲委員(19号委員)の代理で出席された安里氏から、八重山で開催されたがんフォーラムの実施および宮古で実施されるがんフォーラムの印刷物に対して謝辞が述べられた。また、がん患者家族からがん患者会連合会に対しての相談で、「主治医に対して、ステージについての説明を希望したが、主治医がステージの説明をしてくれなかったこと、また、セカンドオピニオンを希望している旨、主治医に伝えたが、主治医の理解が得られなかったこと」があった旨、情報提供があった。

・真栄里委員(19号委員)から、これまで宮古では、血液がんについて、専門治療医がいないため、本島での治療を余儀なくされていたが、昨年10月から専門医の治療が受けられるようになったこと、今年5月から化学療法が受けられるようになったことについて謝辞が述べられ、他の離島でも必要な分野に関しては、どの島でも医療が完結できるようにお願いしたい旨、発言があった。また、離島がん患者への渡航費や宿泊費等の経済的な支援の実施について県に対して謝辞が述べられた。